



気分が悪い場合：医師の診断／手当を受けること。  
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

〔保管〕

直射日光や高温多湿を避け、室温で清浄な場所に保存する。一度開封した場合は密栓した状態で保存すること。

〔廃棄〕

内容物／容器を国／都道府県／市町村の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	： 単一製品
化学名又は一般名	： 酸化アルミニウム
化学特性	： $Al_2O_3$
分子量	： 101.96
CAS 番号	： 1344-28-1
含有量	： 約 99.5 %以上
官報公示整理番号(化審法)	： 1-23
官報公示整理番号(安衛法)	： 公表

### 4. 応急措置

吸入した場合	： 新鮮な空気の場所に移し、十分にうがいをさせる。症状がある時は、医師の診断／手当を受ける。
皮膚に付着した場合	： 多量の水と石鹸で十分に洗い流す。症状が出た場合には医師の診断／手当を受ける。
眼に入った場合	： 清浄な水で十分に洗い流す。医師の診断／手当を受ける。
飲み込んだ場合	： 水でよく口の中を洗浄する。可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当を受ける。
応急処置をする者の保護	： 個人用保護具を着用すること。

### 5. 火災時の措置

消火剤	： 本品は不燃性であるため、周辺火災に適した消火剤を用いる。
火災時の特有危険有害性	： 特になし。
特有の消火方法	： 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護	： 消化作業では適切な保護具（手袋、防火服、マスク、眼鏡）を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
- 保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出されないように注意する。
- 回収、中和 : 漏出した物質は空容器に回収する。
- 二次災害の防止策 : -

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策 : 特になし
- 局所排気・全体換気 : 粉塵等が発生する場合は換気装置を使用する。
- 安全取扱注意事項 : 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。  
漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。  
取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。  
指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。  
休憩場所には手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。  
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

### 保管

- 適切な保管条件 : 直射日光や高温多湿を避け、室温で清浄な場所に保存する。一度開封した場合は密栓した状態で保存すること。
- 安全な容器包装材料 : ガラス、ポリプロピレン

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、認証書を参照のこと。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 管理濃度

設定されていない

### 許容濃度

- ・ ACGIH TLV-TWA : 10 mg/m<sup>3</sup> (total dust)
- ・ 日本産業衛生学会勧告値 (2000 年) : 設定されていない

### 設備対策

- ・ 粉塵が発生する場合には発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
- ・ 取扱い場所の近くに目の洗浄および身体洗浄のための設備を設置し、その場所を表示する。

## 保護具

呼吸器の保護具	: 防塵マスク
手の保護具	: 保護手袋
目の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣

## 9. 物理的及び化学的性質

・外観	: 粉末
・色	: 白色
・臭い	: データなし
・融点	: 2054 °C
・沸点	: 3000 °C
・引火点	: データなし
・爆発範囲	: データなし
・蒸気圧	: データなし
・相対蒸気密度 (空気 = 1)	: データなし
・比重又は嵩比重	: データなし
・溶解度	: 水、酸に不溶
・n-オクタノール／水分配係数 (log Po/w)	: データなし
・自然発火温度	: データなし
・分解温度	: データなし
・燃焼性	: データなし
・密度	: 4.0 g/cm <sup>3</sup>

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常条件で安定である。
反応性	: データなし
危険有害反応性	: データなし
避けるべき条件	: 粉塵の発生・拡散
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性:	経口 ラット LD50 > 5000 mg/kg (IUCALD(2000))
皮膚腐食性/刺激性:	データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	データなし
生殖細胞変異原性:	データなし
発がん性:	ACGIH: A4 (発がん分類できない)
特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露):	上気道刺激性 (ICSC(2000)) の記載がある。
特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露):	酸化アルミニウムの職業暴露により、肺に腺維症が認められた (EHC(1997)) との報告がある。

## 12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
分解性・濃縮性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中への移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

## 13. 廃棄上の注意

- ・関連法規および地方自治体の条例に従って廃棄すること。
- ・空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去してから処分する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号	: 該当なし
国連分類	: -
品名	: -
容器等級	: -
ICAO/IATA	: 該当なし
海洋汚染物質	: 該当なし
注意事項	: 運搬に際しては直射日光を避け、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

## 15. 適用法令

### ◇労働安全衛生法

- ・施行令第18条 名称等を表示すべき有害物
- ・施行令第18条の2 名称等を通知すべき有害物 No. 189

## 16. その他の情報

### その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。